

1. 人権教育参観日

人権教育に重点をおいた学習の授業参観。西中学校区共通の取組である達徳タイムを保護者に周知。



2. 朝のあいさつ運動

地域の方々と実施。



3. スマイル標語の掲示

全校でスマイル標語を作成、代表者の作品を児童玄関前や教室に掲示。また、西中校区で学校代表作品をポスターにして掲示。



4. 児童会 全校かくれんぼ

児童会執行部主催の企画。1～6年生の縦割り班で遊び、異年齢を繋げる取り組み。



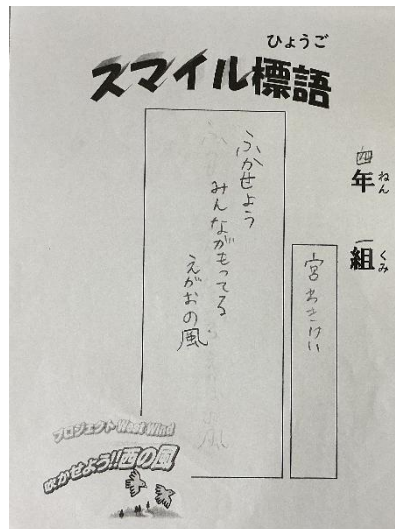
令和8年度鳥取市 Smile 月間 富桑小学校 Smile プロジェクト

①いいところ四面鏡



四面鏡のワークシートを使って自分や友達のよいところを見つけ、互いに伝え合いました。友達のよいところを真剣に考えたり、伝えてもらった言葉を嬉しそうに受け止めたりする姿が見られました。

②スマイル標語



4年生以上が取り組んだスマイル標語。各学年の代表を学年で決め、心温まる作品を選出しました。

③委員会による取り組み

・Smile フォトコンテスト(運営委員会)

タブレットを使用し、思わず笑顔になる、心温まる写真がたくさん出展されました。個人だけでなく、グループでのスマイル写真もあり、それぞれにユニークな名前の賞が送られました。



・ありがとうハートの木(環境福祉委員会)



友達への「ありがとう」の気持ちをハート型のカードに書いて貼りました。たくさんの「ありがとう」が集まりました。身近な人のよさや優しさを振り返る温かい取り組みとなりました。

・読み聞かせ(図書委員会)

図書委員会が、「とびっきりのともだち」など人権に関わる絵本の読み聞かせを行いました。図書室いっぱい子どもたちが集まり、真剣に聞いていました。

・お昼の放送(放送委員会)

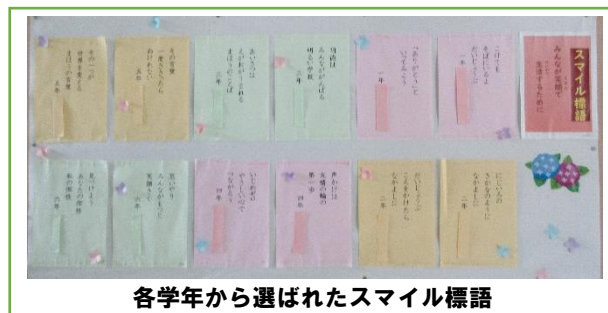
放送委員会が、お昼の放送で「担任の先生から見たクラスのよいところ」を紹介しました。子どもたちは笑顔で放送を聴き、クラスが温かい雰囲気になりました。

鳥取市立明德小学校 令和8年度スマイル月間の取組

(1) 全校児童でスマイル標語の作成 作成期間 6月1日(月)～ 6月5日(金)

・スマイル月間の趣旨を、全校が集まった際人権教育主任が話したり、担任が授業やその他の時間を使って児童に投げかけたりし、気持ちや仲間づくりなどの雰囲気を高めた。みんなが笑顔で生活するためにはどんなことが大切なことなのか考え、行動化につないでいくことを目的に、全校で標語を作成した。

・学年2名選考された作品は、児童玄関横に掲示した。その他の作品も教室前の廊下など保護者や児童の目の届くところへ掲示し、いろんな児童の標語を知ることによって好ましい人とかかわり方を考える機会とした。



(2) 年間を通した毎日のあいさつ運動



縦割りグループであいさつ運動の当番を決めているが、当番以外にも多くの児童が自主的に参加し、児童玄関前で一日の朝のスタートに元気なあいさつを響かせている。上学年は下学年にお手本を示し、声をかける姿も見える。給食時間に運営委員会によりその日のあいさつ運動の様子の振り返りが放送され、児童の意欲づけとなっている。

(3) 各学年の実態や願いにあった取り組み

1年から6年生まで、学級の実態や担任や児童の願いが少しずつ異なるため、クラスごとに取り組みや合言葉を決めていった。例えば、「クラスの中に『おはよう』『ありがとう』の言葉を増やそう」や「昼休憩の全員遊び」や「室内ゲーム」、「隣の人のいいところ見つけ」「いいことカウンター（友達のよいことを発表したらビー玉をためていく）」など、多様な活動が行われた。

取り組み後の感想として担任からは、全員遊びや室内ゲームを通して、「必要に応じて話し合いでルールを改めることができたり、クラスの雰囲気が良くなったりした。」や、隣の人のいいところ見つけでは、「思いやり、ユーモア、協力などの様々な視点から考えさせたので、友達のいろいろな良さを認めたり伝えたりすることができた。」や、「クラスの取り組みを学級会の議題に挙げて話し合い、取り組んだことでスマイル月間に深みが出てよかった。」などがあつた。

(4) 人権教育に関する公開学習

6月17日(水)に「Smile・なかまづくり参観日」を行い、人権教育に関する学習を保護者に公開した。道徳や学級活動の学習を通して、自分や家族、友達の大切さなどを学んだり、車いす体験を踏まえて自分たちができることを考えたりするなどの学習が行われた。

スマイル月間の取り組みについて(令和8年度)

鳥取市立西中学校

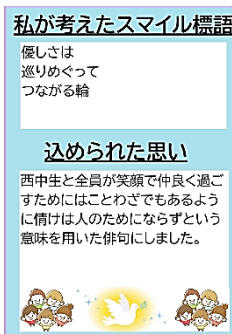
○鳥取市立西中学校のスマイル月間の取り組みを報告いたします。

1 人権憲章についての学級討議を実施

本校では、2003年の生徒会執行部によってつくられた西中人権憲章が23年間脈々と受け継がれており、毎週水曜日の短学活で副室長の号令のもと、声に出して全員で読んでいる。今年度は、「どうすれば西中人権憲章を守り、受け継いでいけるのかを考える」という試みで、学級討議を全クラスで実施した。一人ひとりの意見が反映されるよう、オクリンクプラスで配布されたカードを活用した。

2 スマイル標語作成

各クラスでスマイル標語を作成した。「自分も相手も大切にする」「仲間とのつながり」「笑顔と思いやり」など、学級討議で出た意見も取り入れながら、全員が思いを込めた標語を作成した。作成した標語は校区の小学校と情報共有し、優秀作品も決定した。



3 学年縦割り「NST」での交流

生徒会執行部と各クラスの室長・副室長を中心に「NST」を実施。各学年の仲間とつながる交流活動を通して、学校全体を盛り上げ、生徒一人ひとりにとって楽しい学校生活を目指した。今年度から実施された6月の運動会で大縄跳びを競技として取り入れ、練習から学年の垣根を越えて協力し合うことができた。



4 道徳教育における学級の風土づくり

スマイル月間には各学年で「いじめの防止」「お互いの関係づくり」に関する教材を扱った。授業を通し、生徒一人ひとりが安心・安全な学校づくりや一人ひとりの人権について考えることができた。

1 年	2 年	3 年
いじめに当たるのはどれだろう	わたしのせいじゃない	ある日の午後から
傍観者でいいのか	いじめについて、あなたは どう思う	わたしの好きなもの
風評被害	二番目の悪者（絵本活用）	いじめから目をそむけない

